

アニメーション  
フィルム  
カラー/70分  
日・英語（字幕）版

- 自主企画
- 制作  
桜映画社  
川本プロダクション
- 助成  
文化庁（文化庁芸術  
団体重点支援事業）
- 協力  
多摩美術大学  
手塚プロダクション  
當麻寺 當麻寺中之  
坊 奈良文化財研究  
所 平城遷都1300年  
記念事業準備事務局  
奈良市 近畿迢空会  
ひとこまサポーター  
ウェブの皆さま 他

#### スタッフ

- 製作  
村山英世  
福間順子
- 原作  
折口信夫
- 脚本・監督  
川本喜八郎
- 制作主任  
内藤博道
- 制作助手  
福迫福義  
門垣利枝
- 人形  
川本喜八郎  
保坂純子  
落合恵美子  
浪花洽子 他
- アニメーション  
川本喜八郎  
及川功一  
森 まさあき  
中島史朗  
内藤楊子 他
- 友情アニメーション  
ユーリ・ノルシュテイン

文部科学省選定 東京都知事推奨優良映画 文化庁メディア芸術祭  
アニメーション部門優秀賞 2006年中国国際アニメーション・デジ  
タルアーツフェスティバルグランプリ 第17回ザグレブ国際アニメー  
ション映画祭審査員特別栄誉賞 スペインシッチェス国際映画祭ス  
ペシャルメンションガーティー賞 2005年キネマ旬報文化映画ベス  
ト・テン第3位

人形アニメーション映画『おこんじょうり』に続く『注文の多い  
料理店』の制作が進行中、岡本忠成監督が急逝された。その後、制  
作は親しかった川本喜八郎監督に引き継がれ、映画は1991年に無事  
に完成した。岡本監督と川本監督は共に日本アニメーション界をリー  
ドするライバルでありながら、上映会を一緒に開く仲間でもあった。  
当時、桜映画社は千駄ヶ谷にあり、川本監督のスタジオも近所だっ  
たため、ランチの店で偶然会うこともあった。そのような場で、川  
本監督から、折口信夫（おりくちしのぶ 1887～1953）の『死者の書』  
を自らの集大成とする長編の人形アニメーションとして制作できな  
いかという相談を受けた。原作は難解だが、桜映画社が企画を担当  
し、川本プロが制作する形で、共に実現を目指して協力することにな  
った。この映画は、多くの方々の支援を受け2005年に完成、翌  
2006年、岩波ホールで劇場公開された。





奈良の當麻寺（たいまでら）に伝わる中将姫の蓮糸曼荼羅伝説と大津皇子（おおつのみこ）の史実をモチーフにした折口信夫の小説『死者の書』を原作とする。

8世紀中ごろの奈良、平城京。春の彼岸の中日、千部写経に取り組む藤原南家の姫、郎女（いらつめ）は、二上山（ふたかみやま）に沈む夕日の中に浮かび上がる尊者の佛（おもかげ）を見る。郎女は千部写経を発願。1年後の同じ日に完成させると、何かに導かれるようにして當麻寺へと辿り着くも女人禁制の結界を犯したとして万法蔵院の庵室で物忌みをするようになる。そこで當麻の語部の媼（おうな）から謀反の罪を着せられ処刑され、二上山に葬られた大津皇子の話が聞かされる。二上山の上に荘嚴な佛びとを見た郎女は、その寒々とした身を被う衣を作ろうと、ひたむきに祈りながら蓮の糸で布を織り始める――。

若くして非業の死を遂げた大津皇子のさまよえる魂を、郎女の一途な信仰で鎮めていく物語。執心と解脱というテーマを繰り返して描いてきたアニメーション作家、川本喜八郎は、遺作となったこの作品で解脱（げだつ）を描いた。

- 撮影・照明  
田村 実  
伊丹邦彦
- 装置  
吉田 等
- 装飾  
斉藤 堅  
矢島典子
- 美術  
工藤瑞樹
- 音楽  
廣瀬量平
- VFXディレクター  
栗飯原君江  
豊田浩司
- 整音  
甲藤 勇  
岩名路彦
- 音響効果  
帆刈幸雄
- 編集  
伊藤伸行
- 語り  
岸田今日子
  
- 声の出演  
宮沢りえ  
観世鍔之丞  
榎木孝明  
江守 徹  
黒柳徹子  
三谷 昇  
新道乃里子  
観世葉子  
他

